

あいばせんば こいばせんば

平成28年8月号

発行責任者 饗庭 敦子

あいばあつ子だより

長与町議会議員

笑顔で暮らせる長与のまちづくりを目指します



ごあいさつ

暑中お見舞い申し上げます。
参議院議員選挙では大変お世話になりました。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。
最近アドラー心理学にはまりつつあります。嫌われる勇氣、幸せになる勇氣「トラウマ」の存在を否定したうえで、「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」です。興味ありますか。

産業厚生常任委員会 調査報告

平成28年5月18日～20日

- (1) 自治体総合フェア2016 地方資源のビジネス化
- (2) 宮城県富谷町 データヘルス計画
- (3) 埼玉県川越市 地域包括ケアシステム構築について



円形の議場

富谷町はデータ分析に関するモデル事業の実施後、効果的・効率的な保険事業に取り組んでおり、本年10月から市政へ移行される。人口減少が全国的に進む中で村から町、町から市へ100年間人が増え続ける町『住みたくなる町日本一』を目指し発展してきたとのことで長与町と似ているように思えた。富谷町の町名をうまく使って「塩分アタック！めざせ1038人」のキャンペーンには遊び心が感じられた。その中で血圧コントロールや適塩の重要性を啓発し、住民の意識改革を図るとのことである。長与町でも住民の意識改革は重要な課題であり、住民へ参加しやすい呼びかけが必要だと思う。

あいばあつ子の活動報告

1 議会改革

長与町議会のホームページで6月定例会より議案書を公開しました。

町の事業や予算、決算の内容を知ることができます。ご自宅でも閲覧できますので、是非アクセスして下さい。
長崎新聞にも掲載されました。(6月4日)
今後も議会運営委員長として見える化を進め、議会改革に積極的に取り組んでいきます。

西彼長与町議会は6月定例会から、町が提案した予算や条例などの議案書を事前にホームページ（HP）上で公開する。県内17市町議の中で議案書を並び初めとなる。

同町議会は2014年に「議案書等の公開に関する要綱」を制定、傍聴者が本会議場や委員会室の傍聴席で議案書を閲覧できるようにした。

長与町議会もHPで議案公開

今年4月にはそれを一歩進める形で要綱を一部改訂、議案書やHPで公開すると明記し、3月議会の議案書は要綱しやすく、質疑のポイントを明確に把握できるように、また、議案書を通じた議案書の公開（6月定例会の議案書をHPに掲載する）は、傍聴者が事前に知ることで、町民の市政に対する参加意識が高まるのでは、と話している。

(大塚泉)

2 オリーブ加工施設

三根郷にあった旧加工施設は、30年以上の稼働で老朽化が進んでいました。また、町内のオリーブ生産農家からは、遠方の施設に搾油を依頼しなくてすむよう地元で搾油設備がほしいという声が上がっていたため、「長与町まちひとしごと」の創生総合戦略の一つとして6月1日、農産物加工施設を岡郷にオープンしたところです。搾油設備は少し小さいと感じましたが、新しい施設で町のオリーブ生産が増加し、雇用促進に繋がるよう応援しなければならないと思っています。



一般質問 行政に問う

6月議会 第9次総合計画へ住民の意向が反映できているか

第9次総合計画については、特別委員会で説明を受け、議会の提案も取り入れたが、パブリックコメントは僅か2件であった。これは非常に少ない件数であり、住民の意見が十分に反映され、みなさんの意見を確認できなかったと言いたい状態だと思う。住民の意向はどのように反映されているか。

町民意識調査、長与町総合開発審議会、町議会の特別委員会などで数多くのご意見を賜り、パブリックコメントを実施した。結果を公表し、第9次総合計画の策定にあたりあらゆる機会でも多くの町民のご意見を反映してきたのではないかと考えている。

パブリックコメントだけではなくワークショップとかディスカッションなど新しい取り組みを考えてはどうか。

検討する。

第9次計画で、住民にとっての重要な課題の一つである図書館の建設について新図書館の整備推進とだけ書いてあるが、図書館を建てようという思いが感じられないとの意見があったがどう捉えるか。

新図書館の整備推進という表現で、熱意を感じて頂きたい。

新図書館の建設とかはっきりとした表現ができなかったのか。

財政的なもの等々あり、きちんとした形で取り組んでいきたい。



6月議会 ゆとり教育

馳文部科学大臣が「ゆとり決別宣言」をされたが、ゆとり教育の何が問題だったのかという総括ができてくるのか。ゆとり世代の人に話を聞くと「別にゆとり世代になりたくてなったわけじゃない」というのが大半である。長与町ではこの決別宣言をどのように捉えているのか。また子ども達にどう伝えていくのか。

ゆとりの導入時のスローガンは「ゆとりと充実」であって、単なる量的な軽減ではなかった。充実こそが主たるねらいである。現在の学習資料要領では、見る教科書から読む教科書に変わったと言われるほど充実し、既にゆとり教育からは、次の時代に向けた移行が進んでいると認識している。また大臣はゆとり教育との決別を明確にし、これからの時代に対応できる質の高い教育の強靱化というメッセージを発している。本町でも、その趣旨に添った新たな教育改革に取り組んで行く。

子どもの貧困と教育格差

貧困であることは、単にお金がないだけでなく、「家」に本や雑誌がない・親が仕事で忙しくなかなか相手にしてもらえない・朝食を食べられない・医療が受けられないなど発達の諸段階で当たり前の生活ができず、貧困が固定化し、次世代に連鎖していきます。子どもや家庭の努力ではどうにもならない大きな壁が立ちほだかっているのです。長与町の子どもが将来に希望の持てるように貧困の実態を把握し、教育格差がなくなることを願います。

長与町議会議員

あいば あつ子

西彼杵郡長与町まなび野3-16-13

電話 095-887-5245

FAX 095-887-5245

携帯090-2085-8358

ホームページ <http://aatsuko.jp>

メールアドレス aaiba@aatsuko.jp



饗庭 敦子

ご相談はお気軽に

怒りの原因は？

その人のゆずれない「価値観」
「べき！」

怒りは、自分の期待、理想が裏切られたとき、その動機にならなかつたときに生まれる感情

職場で10時から会議が始まる場合

10分前に会場に集合すべしと10時ちょうどに行けばいい職場の人が集まっているのだから5分くらい遅刻は許される

怒ると決めたことは適切な怒り方ができる怒らなくていいことは怒らなくてすむようになる「怒る」「怒らない」の境界線を明確に

境界線を広げる努力をする
境界線を伝える努力をする
境界線を安定させる努力をする

メンタルヘルス研修の1コマです。

アンガーマネジメントです。

怒りに支配されていませんか？